

令和 7 年度 中学部 2 年 (II 課程) 国語科 年間指導計画

単位数×配当時数		児童生徒		担当者	
3/105		2年II課程			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技)日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。【中1段階】 (思判表力)順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。【中1段階】 (学・人)言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。【中1段階】					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技)簡単な文や文章を読むことができる。【中1段階7 (ア)(イ)(ウ)(エ)(カ)(キ)】 (思判表力)情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中1段階、C7・I1】 (学・人)文や文章の内容を読み取る態度を養うことができる。【中1段階】	(知・技)情景・場面・心情・時間の経過を表す語句に着目して読むことができる。 (思・判・表)文や文章の概略をとらえ、情景・場面・心情を表す語句について説明することができる。 (主学)文や文章を読み取る意欲をもって学習に参加することができる。	○説明文。 ○物語、絵本。 ○詩。 ○様々な文や文章、資料などの読み取り(新聞、雑誌、メール、その他文字で書かれた素材) (4～7月)	○挿絵が少なく、文字量がやや多めな文や文章の朗読、黙読、聞き取り。 ○場面の様子の変化を表す語句の抽出、意味の確認。 ○人物の行動と心情を表す語句の抽出、読み取り。 ○時間を表す語句、接続語などの抽出、文や文章の構造や展開の確認。
		(知及技)長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を知ることができる。【中1段階7(ウ)】 (思判表力)長音、拗音、促音、撥音、助詞を用いて語や文を構成することができる。【中1段階、B1】 (学・人)言葉を丁寧に読んだり書いたりする態度を養うことができる。【中1段階】	(知・技)長音、拗音、促音、撥音、助詞を正確に読み書きすることができる。 (思・判・表)日常的な言葉(出来事、事物、経験)を発したり書いたりする際に既習内容を応用することができる。 (主学)主体的かつ丁寧に文字を読み書きしようとする意欲を示すことができる。	○長音、拗音、促音、撥音が含まれた言葉の練習。 ○助詞「は」「へ」「を」などの音読、視写、聴写など。 ○平仮名・片仮名・自分や身近な事物の名前を書くこと。 (4～7月)	○長音、拗音、促音、撥音のある語句や文の音読、視写、聴写など。 ○日常的な言葉(出来事、事物、経験)の意味を確認し、生活場面や伝える相手に応じた文字や言葉の使い方などを反復練習すること。
		(知及技)文節の役割を知ることができる。【中1段階7(カ)】 (思判表力)主語と述語、接続する語句を用いて文を構成することができる。【中1段階、B7】 (学・人)語のまとまりを意識し、読み書きに関心をもつことができる。【中1段階】	(知・技)主語と述語の関係、文節の概念などを理解して言葉を使うことができる。 (思・判・表)主語と述語、接続する語を用い、様々な場面を想定して会話や作文をすることができる。 (主学)語のまとまりを意識することができる。	○主語と述語。 ○接続語。 ○文章・文・文節の繋がり。 (4～7月)	○主語と述語の係り受け。 ○接続語の働きおよび文章・文・文節の繋がり。 ○主語、述語、接続語などを用いた文や文章の作成・読解。
2 学期	48	(知及技)事柄を思い浮かべて列挙することができる。【中1段階7(ア)】 (思判表力)思い浮かべた事柄の中から伝えたい内容を決めることができる。【中1段階、A1】 (学・人)言いたいことを整理し、自分なりの表現で伝える態度を身に付けることができる。【中1段階】	(知・技)「いつ・誰が・何をした」等の場面を整理することができる。 (思・判・表)自分の興味や関心、感情等を挙げて発表の手掛かりとすることができる。 (主学)自分の言葉で伝えようという意欲をもって学習に参加することができる。	○発表のトピックの確認、キーワードの選定。 ○自分の言いたいことを整理して伝えること(手紙、葉書、作文、発表など)。 ○相手の発言内容を汲み取ること。 (9～12月)	○「いつ・誰が・何をした」等を思い浮かべて発表の内容を決めること。 ○聞き手や話す目的を意識し、自分の興味関心、感情等を手掛かりにして話題を決めること。 ○発表者の話をよく聞き、ワークシートにキーワードを書き留めて短文を整理すること。
		(知及技)話をする時の発声方法を理解することができる。【中1段階7(イ)】 (思判表力)場面に応じて発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。【中1段階、A1】 (学・人)人前で言葉を発する姿勢を示すことができる。【中1段階】	(知・技)話をする際に必要な声量と発音の仕方を身に付けることができる。 (思・判・表)聞き手がいることを意識し、適切な発声で話すことができる。 (主学)意欲をもって学習に参加し、発声練習に取り組むことができる。	○文章や詩の音読。 ○出来事の発表。 ○メモや絵や写真などを手掛かりにして話をする。 (9～12月)	○場面に応じた声量での会話。 ○姿勢や口形を意識した発音。 ○絵や写真で示された事物を言葉で表すこと。
3 学期	21	(知及技)丁寧な言葉があることに気づくことができる。【中1段階7(カ)】 (思判表力)場面に応じて普通の言葉と丁寧な言葉を使い分けることができる。【中1段階、A7・I1、B7】 (学・人)場と相手をわきまえて言葉を使う姿勢を養うことができる。【中1段階】	(知・技)丁寧語と普通の言い方の区別を確認することができる。 (思・判・表)立場や状況に応じて丁寧な表現で伝えることができる。 (主学)相手を敬う気持ちをもって言葉を使おうと心掛けることができる。	○常体と敬体。 ○丁寧語。 ○尊敬語。 ○謙讓語。 (1～3月)	○相手や場面に応じた丁寧語(「～です」「～ます」「～ください」「～でした」「～ました」「～ですか」「～ますか」)の使い分け、反復練習。 ○常体から敬体への言い換え、敬体から常体への言い換え。 ○簡単な尊敬表現と謙讓表現に触れること。
		(知及技)様々な表現方法を理解することができる。【中1段階7(ア)(イ)(ウ)(エ)】 (思判表力)語句のまとまりを意識し、様々な表現で話したり書いたりすることができる。【中1段階、B7・I1・ウ・I1、C7・I1・I1】 (学・人)様々な言葉を学ぼうとする意欲をもつことができる。【中1段階】	(知・技)様々な語句の意味を確認し、生活場面を想定して使用することができる。 (思・判・表)学習した語句を用いて作文や発表をすることができる。 (主学)言語を習得するために意欲的に学習に取り組み、反復練習をすることができる(視写、聴写など)。	○視写・聴写(平仮名・片仮名・漢字・ローマ字・句読点など)。 ○生活用語、外来語、擬音語、擬態語、数量、気持ちを表す語など。 ○同義語・対義語、上位語・下位語、同音異義語、多義語など。 (1～3月)	○様々な文字や符号を丁寧に書くこと。 ○自分や身近な事物の名前を書くこと。絵や写真で示された事物を言葉として書くこと。 ○使用する語句に関連する単語を確認し、概念を理解すること。
総時数	105	【評価資料】活動の様子の観察で評価する。			

令和 7 年度 中学部 2 年 (II 課程) 社会 年間指導計画

単位数/配当時数		生徒		担当者	
2/70		中学部 2 年 II 課程			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり、公共施設の役割及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、自分との関わりが分かるとともに、調べまどめる技能を身に付けるようにする。(中学部1段階) (思判表力)社会的事象について、自分の生活や地域社会と関連づけて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。(中学部1段階) (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中学部1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることがわかること。(中1段階ウ(ア)ア) (思判表力)地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時の備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現すること。(中1段階ウ(ア)イ) (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中1段階)	(知・技)地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることを理解しようとしている。 (思・判・表)地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時の備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現しようとしている。 (主学)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚が芽生えつつある。 評価資料【ワークシート、質問や発表の様子】	・ロゴマークとピクトグラム ・地図記号 ・校外学習に向けて ・防災について (4～5月)	・ロゴマークとその名称をカードと照合しながら一致させる。 ・ピクトグラムとその名称をカードと照合しながら一致させ、実際校舎内のピクトグラムを探して確認する。 ・散策しながら、学校周辺のミニマップを作成する。 ・校外学習の目的地(海洋博記念公園・本部町)について、学校からの道程、距離、地域の特色等について調べワークシートにまとめる。 ・地震・津波など震災に備える事項について、インターネットや視覚教材を活用して調べ、ワークシートにまとめる。
		(知及技)身近な地域や自分たちの市町村の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを知る。(中1段階オ(ア)) (思判表力)交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市町村や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。(中1段階オ(イ)) (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中1段階)	(知・技)身近な地域や自分たちの市町村の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを理解しつづめる。 (思・判・表)交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市町村や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。 (主学)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚が芽生えつつある。 評価資料【ワークシート、質問、発表の様子】	・沖縄県の本土復帰 ・沖縄戦と平和学習 (6月～7月)	・沖縄県の本土復帰について、その歴史的事象と経緯をインターネットや、視覚教材を活用して調べワークシートにまとめる。 ・インターネットや視覚教材を活用して、歴史的背景や当時の状況について調べる。
2 学期	28	(知及技)身近な地域や自分たちの市町村の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを知る。(中1段階オ(イ)㊸) (思判表力)都道府県内における市町村の市や市町村の地形、土地利用などに着目して身近な地域や市町村の様子を捉え、場所による違いを考え、表現しようとしている。 (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中1段階)	(知・技)身近な地域や自分たちの市町村の様子を捉え、場所による違いを考え、表現しようとしている。 (主学)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚が芽生えつつある。	・フィールドワーク(学校周辺の地図作り) ・公共施設 (7月)	・学校周辺にあるコンビニ、郵便局、公園などをフィールドワークを通して調べ、確認し、学校とその周辺の様子をミニマップにして作製し、まとめる。
		(知及技)身近な地域や自分たちの市町村の様子、人々の生活は時間とともに、移り変わってきたことを知る。(中1段階オ(ア)㊹) (思判表力)交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市町村や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。(中1段階オ(ア)㊺) (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中1段階)	(知・技)身近な地域や自分たちの市町村の様子、人々の生活は、時間と共に移り変わってきたことを理解しようとしている。 (思・判・表)交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市町村や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現しようとしている。 (主学)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚が芽生えつつある。	沖縄県の歴史・文化 ・行事、風習、衣食住、方言等 (9～11月)	・沖縄県独自の歴史、文化について調べ、ワークシートにまとめる。 (年中行事、旧盆、伝統芸能、食文化、住居、方言等)
		(知及技)身近な地域や自分たちの市区町村の様子、人々の生活は、時間と共に移り変わってきたことを知る。(中1段階オ(イ)㊻) (思判表力)交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市区町村の人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。(中1段階オ(イ)㊼) (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中1段階)	(知・技)身近な地域や自分たちの市区町村の様子、人々の生活は、時間と共に移り変わってきたことを理解しようとしている。 (思・判・表)交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市区町村の人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現しようとしている。 (主学)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚が芽生えつつある。	沖縄県と本土の共通点と差異点 (11～12月)	・具体物を介して、沖縄県と本土の違いを比較し、ワークシートにまとめる。 (家屋、食べ物、衣服、住居、楽器など)
3 学期	18	(知及技)家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることを大切さを知る。(中学部1段階ア(イ)ア) (思判表力)社会生活のきまりとの関連を考え、表現すること。(中学部1段階ア(イ)イ) (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。(中1段階)	(知・技)家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることを大切さを理解しつづめる。 (思・判・表)社会生活のきまりとの関連を考え、表現しようとしている。 (主学)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚が芽生えつつある。 評価資料【活動の様子を観察、ワークシート、質疑の様子】	SDGs (1～3月) フィールドワーク(宇茂佐海岸ビーチクリーン)	・SDGsが誕生した経緯と意義についてインターネットや視覚教材を確認しながら調べ、ワークシートにまとめる。 ・SDGsの実践例について、インターネットや視覚教材を使って調べまとめる。(ゴミ分別、食品ロス、ビーチクリーン等) ・自身が実践可能なSDGsは何か考え、身近な実践例などの情報をもとに、具体的にどう取り組むかについて考える。
総時数	70				

令和7年度 中学部 2年(Ⅱ課程) 数学科 年間指導計画

配当時数	対象生徒	担当者
3/105	中学部2年Ⅱ課程	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身につけるようにする。(中2段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基本的・基礎的な数量や図形の性質等を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(中1段階) (学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用とする態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技)10000までの整数読み方・書き方を理解し、整数を操作することができる。(中2段階Aア(ア)) (思判表力)表記された整数やその読み方から、指定された位の数を判断し、その数を表現することができる。(中2段階Aア(イ)) (学・人)整数の表し方の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)指定された10000までの整数を読むこと・書くことができた。 (思・判・表)整数の指定された位の数を解答したり、指定された数が用い垂れている位を判断することができた。 (主学)整数の表し方の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	整数の表し方(4～5月)	・10000までの整数の読み方 ・10000までの整数の書き方 ・10000までの整数の位
		(知及技)整数の加法・減法について学び、それを用いて課題を解くことができる。(中2段階Aイ(ア)) (思判表力)数量の関係性を判断し、適切な計算方法を選択することができる。(中2段階Aイ(イ)) (学・人)加法・減法の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)3位数同士の整数の加法・減法を解くことができた。 (思・判・表)文章題から加法・減法の式を縦、解答することができた。 (主学)整数の加法・減法の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	整数の加法・減法(6～7月)	・2位数の加法・減法(復習) ・3位数同士の足し算(繰り上がり2回) ・3位数同士の引き算(繰り下がり2回) ・3位数を用いた文章問題(加法・減法)
2学期	48	(知及技)整数の乗法の解き方を理解し、それらを用いて課題を解くことができる。(中2段階Aウ(ア)) (思判表力)数量の関係性を判断し、適切な計算方法を選択することができる。(中2段階Aウ(イ)) (学・人)乗法の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)1位数同士のかけ算の課題を解くことができた。 (思・判・表)文章題から乗法の式を立て、解答することができた。 (主学)整数の乗法の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	整数の乗法(9～10月)	・かけ算九九の復習 ・かけ算九九の問題(1の段から9の段までをランダム) ・かけ算九九の文章問題
		(知及技)小数の読み方や書き方を理解し、それらを用いて課題を解くことができる。(中2段階Aオ(ア)) (思判表力)2つの小数を比較し、その大小を判断することができる。(中2段階Aオ(イ)) (学・人)小数の表し方の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)小数の読み方や書き方を理解し、課題を解くことができた。 (思・判・表)2つの小数を比較し、その代表を判断することができた。 (主学)小数の表し方の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	小数の表し方(11～12月)	・小数の表し方(小数点、小数第〇位) ・小数の読み方・書き方 ・2つの小数の大小の比較
3学期	21	(知及技)分数の考え方を理解し、それらを用いた課題を解くことができる。(中2段階Aカ(ア)) (思判表力)2つの分数を比較し、その大小を判断することができる。(中2段階Aカ(イ)) (学・人)分数の表し方で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中2段階Aウ)	(知・技)図や数直線で表現された分数を書くことができた。 (思・判・表)2つの分数を比較し、その大小を判断することができた。 (主学)分数の表し方の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	分数の表し方(1～2月)	・分数の読み取り(図や数直線) ・分数の読み方・書き方(分母、分子) ・分数同士の比較(通分)
		(知及技)特別な図形(正方形、長方形、直角三角形)の特徴を学び、それらを用いて課題を解くことができる。(中1段階Bア(ア)) (思判表力)基本的な形の特徴を捉え、道具を用いて、その形を適切に表現することができる。(中1段階Bア(イ)) (学・人)図形の単元で学んだことを生活や学習に活用することができる。(中1段階Bウ)	(知・技)特別な図形の特徴を捉え、同様の図形を方眼紙に書くことができた。 (思・判・表)複数の図形を特徴毎にグループ分けすることができた。 (主学)図形の課題に取り組み、提出・発表することができた。 【評価資料】授業における課題の取り組み状況及びプリントによる確認テスト	図形について(3月)	・特別な図形(正方形、長方形、直角三角形) ・図形の模写 ・図形の作図(方眼紙を使用) ・日常の中にある形
総時数	105				

令和7年度 中学部 2 年 (II 課程) 理科 年間指導計画

単位数(相当時数)		生徒	担当者		
2/70		2年II課程			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)身の回りの生物、自然、気象や身の回りで起こる科学現象について気づき、観察、実験に取り組むことができるようにする。(中学部1段階) (思判表力)身の回りの生物、自然、気象や身の回りで起こる科学現象の共通点や差異点に気づき、疑問を持つことができるようにする。(中学部1段階) (学・人)身の回りの生物、自然、気象や身の回りで起こる科学現象について理解し、日常生活に活かすことができるようにする。(中学部1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)身の回りの生物の様子について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階A(ア)) (思判表力)身の回りの生物の様子から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階A(イ)) (学・人)身の回りの生物の様子について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)教師の助言を聞いて、身の回りの動植物に興味を持ち、様々な場所で見つけようとし、これらの様子や周辺の環境、成長の過程などを理解しようとしている。 (思・判・表)身の回りの生物の姿や昆虫、植物の育ち方などについての違いや共通点を見つけようとしている。 (主学)身の回りの生物やその仲間について調べようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	身の回りの生物(春～夏) (4月～5月)	・知っている植物や動物、興味、関心のある植物や動物の名前や特徴を発表する。 ・校内で春から夏にかけて見られる動物や植物を探索し、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・モンシロチョウの成長過程や昆虫の体のつくりを観察し、プリントにまとめる。 ・農場で夏野菜の観察をし、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・植物を育て、その成長過程と植物の体のつくりを観察し、プリントにまとめる。 ・インターネットや視覚教材でいろいろな生き物の特徴を調べる。
		(知及技)光や音の性質について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Cウ(ア)) (思判表力)光や音の性質から主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階Cウ(イ)) (学・人)光や音の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)光や音の性質、磁石の性質、電気の性質や回路について理解しようとしている。 (思・判・表)光を当てたときの明るさや暖かさ、音を出した時の様子、磁石を身の回りの物に近づけたときの様子、乾電池と豆電球などのつながり方と乾電池につないだ物の様子などについての差異点や共通点を見つつけようとしている。 (主学)光や音の性質、磁石の性質及び電気の回路について学んだことを、身の回りの中で見つけようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	光や音の性質 (6月～7月)	・平面鏡などに日光を当てたときの、平面鏡の向きや光の様子について調べる。 ・光を当てたときの物の明るさや暖かさについて調べる。 ・身の回りにある物を使って音を出したときの物の震え方や音の大きさを変えたときの現象の違いについて調べる。
2 学期	28	(知及技)磁石の性質について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階Cエ(ア)) (思判表力)磁石の性質から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階Cエ(イ)) (学・人)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとすることができる。(中1段階)	(知・技)光や音の性質、磁石の性質、電気の性質や回路について理解しようとしている。 (思・判・表)光を当てたときの明るさや暖かさ、音を出した時の様子、磁石を身の回りの物に近づけたときの様子、乾電池と豆電球などのつながり方と乾電池につないだ物の様子などについての差異点や共通点を見つつけようとしている。 (主学)光や音の性質、磁石の性質及び電気の回路について学んだことを、身の回りの中で見つけようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	磁石の性質 (9月～10月)	・磁石を身の回りの物に近づけたときの様子や特徴について調べる。 ・二つの磁石を近づけ、磁石が相互に引き合ったり、退け合ったりする様子について調べる。
		(知及技)雨水の行方と地面の様子について理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中2段階Bア(ア)) (思判表力)雨水の行方と地面の様子について既習の内容や生活経験を基に予想することができる。(中2段階Bア(イ)) (学・人)雨水の行方と地面の様子について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かすことができる。(中2段階)	(知・技)雨水の行方と地面の様子について理解し、観察、実験などに取り組んでいる。 (思・判・表)雨水の行方と地面の様子について、疑問をもつことについて既習の内容や生活経験を基に予想している。 (主学)雨水の行方と地面の様子について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	雨水の行方と地面の様子 (10月～11月)	・水の流れ方やしみこみ方について地面の傾きや粒の大きさなどを関連付けた実験、観察を行う。 ・雨天時の運動場や校庭で水の流れを観察し、その規則性を調べる。 ・インターネットや視覚教材で雨水の行方や川の流れと働きについて調べる。
		(知及技)身の回りの生物の様子について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階A(ア)) (思判表力)身の回りの生物の様子から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階A(イ)) (学・人)身の回りの生物の様子について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)教師の助言を聞いて、身の回りの動植物に興味を持ち、様々な場所で見つけようとし、これらの様子や周辺の環境、成長の過程などを理解しようとしている。 (思・判・表)身の回りの生物の姿や昆虫、植物の育ち方などについての違いや共通点を見つけようとしている。 (主学)身の回りの生物やその仲間について調べようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	身の回りの生物(秋) (11月～12月)	・校内で秋に見られる動物や植物を探索し、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・野菜の栽培を観察し、その成長過程やつくりをプリントにまとめる。 ・インターネットや視覚教材でいろいろな生き物の特徴を調べる。
3 学期	18	(知及技)天気や自然界の水の様子を調べる活動を通して、それらについての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中2段階Bイ(ア)) (思判表力)気象現象について疑問をもつことについて既習の内容や生活経験を基に予想することができる。(中2段階Bイ(イ)) (学・人)気象現象について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かすことができる。(中2段階)	(知・技)天気や自然界の水の様子についての基本的なことを理解し、観察、実験に取り組んでいる。 (思・判・表)気象現象について疑問をもつことについて既習の内容や生活経験を基に予想している。 (主学)気象現象について見いだした疑問を進んで調べ、学んだことを日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	天気の様子 (1月～2月)	・1日の気温変化、1年の気温変化を調べる。 ・水が蒸発し水蒸気となる実験を行う。 ・インターネットや視覚教材で天気の変化や水の状態変化を調べる。
		(知及技)身の回りの生物の様子について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けることができる。(中1段階A(ア)) (思判表力)身の回りの生物の様子から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつことができる。(中1段階A(イ)) (学・人)身の回りの生物の様子について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かすことができる。(中1段階)	(知・技)教師の助言を聞いて、身の回りの動植物に興味を持ち、様々な場所で見つけようとし、これらの様子や周辺の環境、成長の過程などを理解しようとしている。 (思・判・表)身の回りの生物の姿や昆虫、植物の育ち方などについての違いや共通点を見つけようとしている。 (主学)身の回りの生物やその仲間について調べようとしている。 評価資料【活動の様子の観察、ワークシート、質疑の様子】	身の回りの生物(冬～春) (2月～3月)	・校内で冬に見られる動物や植物を探索し、名前や特徴をプリントにまとめる。 ・野菜の栽培を通してその成長過程を観察し、プリントにまとめる。 ・サクラの花のつくりや昆虫との関係を観察する。 ・インターネットや視覚教材でいろいろな生き物の特徴を調べる。
総時数	70				

令和7年度 中学部2年（Ⅱ課程）音楽 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者
2/70	中学部2年Ⅱ課程	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身につけるようにする。【中学部1段階】 (思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようになる。【中学部1段階】 (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。【中学部1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 曲名や曲想の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて理解する。(中1段階A(イ)㊦) (思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことができるようにする。(中1段階A(ウ)) (学・人) 進んで音や音楽に関わろうとする態度を養う。(中1段階ウ)	(知・技) 歌詞の内容に合わせて表情を変化させながら歌唱することを身に付けている。 (思・判・表) 歌詞の内容や曲想を知り、イメージをもって歌うことを身に付けている。 (主学) 楽曲の美しさを感じて歌唱しようとしている。 【評価資料】 活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・歌唱 ・手話表現 ・身体表現 (4～7月)	・正しい姿勢で発声しよう ・歌詞をイメージして歌ってみよう ・歌詞を覚えて歌ってみよう ・手話を覚えて表現しよう
		(知及技) 知識や技能を得たり生かしたりしながら、音楽づくりを身に付けようとする。(中1段階A(ア)) (思判表力) 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気づきながら、音楽を味わう。(中1段階A(イ)) (学・人) 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能を養う。(中1段階A(ウ)㊦)	(知・技) 表したい音楽表現をするために、音楽づくりを身に付けようとしている。 (思・判・表) 音の長さ、簡単な楽譜を見てリズムや速度が分かる。 (主学) 音階カードを見ながら、簡単な楽曲を一人で演奏しようとして身に付け、協力して音楽活動に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・器楽 ・創作 (5～6月)	・打楽器をつかってリズムアンサンブルをしよう ・旋律の創作活動 ・器楽合奏
		(知及技) 表したい音楽表現に身体表現の技能を身に付けるようにする。(中1段階工(ア)) (思判表力) 音楽を味わって聴くことができるようにする。(中1段階B) (学・人) 様々な音楽に親しみ、音楽経験を通して生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。(中1段階ウ)	(知・技) 曲想と音楽の構造等との関わりについて知っている。 (思・判・表) 楽器の音色や楽曲の特徴や由来に興味を持って、鑑賞している。 (主学) 集中して観たり聴いたりすることができる。 【評価資料】 活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・鑑賞 郷土の音楽について学ぼう (5～6月)	・協奏曲やオーケストラについて学ぼう「ピバルディ春」 ・様々な楽器の名称や音色を知ろう ・楽器の音色の特徴に気付いて鑑賞しよう
2 学期	28	(知及技) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら意図を理解しながら曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫しようとしている。(中1段階B) (思判表力) 曲の雰囲気と音楽の構造を意識して、音楽を味わう。(中1段階A(ア)) (学・人) 音色や響きに気をつけて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能を養う。(中1段階A(ウ)㊦)	(知・技) 音の長さやシンコーペーションのリズムの違いに気をつけながら演奏しようとしている。 (思・判・表) 音の長さを知り、簡単な楽譜を見てリズムや速度を気をつけようとしている。 (主学) 協力して音楽活動に取り組もうとしている。 【評価資料】 活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・器楽 (9～11月)	・楽器の選択 ・楽器の正しい奏法を学ぶ ・合奏を楽しもう ・速さの違いを感じて演奏しよう
		(知及技) 鑑賞についての知識を得たり、曲や演奏のよさを見いだして聴く。(中1段階B(ア)) (思判表力) 曲の雰囲気と音楽の構造等との関わりについて聴くことができる。(中1段階B) (学・人) 様々な音楽に親しみ、音楽経験を通して生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。(中1段階ウ)	(知・技) 曲の構造等との関わりについて知っている。 (思・判・表) 楽器の音色や鳴らし方に興味を持って、鑑賞している。 (主学) 集中して観たり聴いたりすることができる。 【評価資料】 活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・鑑賞「舞台芸術」好きな曲紹介 ・iPadを使って調べ学習 (12月)	・舞台芸術について学ぼう (ミュージカル・オペラ・バレエ等) ・自分のおすすみたい曲を紹介しよう「好きな曲紹介」 ・友達の好きな曲を聴いてみよう ・iPadを使って学習する曲を調べよう
3 学期	18	(知及技) 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもって、音楽づくりを身に付けようとする。(中1段階A(ウ)) (思判表力) 曲の雰囲気と楽器の音色と全体の響きのよさを見いだしながら、音楽を味わう。(中1段階) (学・人) 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて、協働して音楽活動をする楽しむ態度を養う。(中1段階A(ウ)㊦)	(知・技) 音楽用語やリズムの特徴の意味を知り、曲の流れを止めずに演奏しようとしている。 (思・判・表) 音の長さが分かり、簡単な楽譜を見てリズムや速度を知っている。 (主学) 協力して音楽活動しようとしている。 【評価資料】 活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・歌唱・身体表現 (1～3月)	・指揮に挑戦しよう ・卒業の歌 ・歌詞や情景や曲想に相応しい歌い方を工夫しよう
		(知及技) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲のよさなどを見いだして聴くことができる。(中1段階B) (思判表力) 曲想と音楽の構造等との関わりについて聴くことができる。(中1段階A) (学・人) 様々な音楽に親しみ、音楽経験を通して生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。(中1段階ウ)	(知・技) 曲想と音楽の構造等との関わりについて知っている。 (思・判・表) 楽器の音色や鳴らし方、楽曲の特徴や由来に興味を持って、鑑賞している。 (主学) 集中して観たり聴いたりすることができる。 【評価資料】 活動の様子と感想発表や取り組み状況を観察し評価する。	・器楽合奏 (2月)	・器楽合奏 ・卒業コンサート ・友達に合わせて演奏しよう
総時数	70				

令和7年度 中学部 2年(Ⅱ課程Aグループ) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	学習グループ	担当者
2/70	中学部2年Ⅱ課程	

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけるようにする。(中1段階) (思判表力)造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中1段階) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。(中2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表す。(中1段階A表現ア(イ)) (思判表力)経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をする。(中1段階A表現ア(ア)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組む。(中2段階)	(知・技)材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、材料や用具を選んで使い表している。 (思・判・表)経験したことや思ったことをを基に、発想や構想をしている。 (主学)美術の活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	・思い出の絵、楽しかったこと、がんばったこと、楽しみなこと(宿泊学習、運動会、修学旅行等、夏休み、学校生活) ・好きな物、描きたい物を描く。(4～5月)	・身近にあった出来事やこれまでの経験で楽しかったこと、がんばったこと、これから楽しみにしていることなどを考える。 ・遠足、運動会、修学旅行などのイベントの後に感じた事や思い出を絵で表す。またはこれから迎える楽しみなこと(過去の経験に基づいたイメージで可)等を絵に表す。画材は生徒の好みや時間配分に合わせて選択。 ・文字が書ける生徒はワークシートにテーマをまとめる。 ・ipad等で画像を検索して、描く。
		(知及技)材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表す。(中2段階Aア(イ)) (思判表力)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をする。(中2段階Aア(ア)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組む。(中2段階)	(知・技)表したいことに合わせて、材料や用具を工夫して使い表している。 (思・判・表)柔軟に発想し、立体的に表現している。 (主学)美術の活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	陶芸「身近な物を形に・・・」 人・動物・のりもの・建物(6月)	自然界や身の回りにある形や色彩に目をむけ、感じ取ったイメージを形に表現しよう。 ・自然界や身の回りに関する写真や資料を鑑賞する。 ・鑑賞して受け取った印象などを言葉にする。 ・見たり感じたりしたことを意識しながら粘土で表す。
		(知及技)表し方や材料による印象の違いなどに気付き、自分の見方や感じ方を広げる。(中1段階Bア(イ)) (思判表力)自分たちの作品や身近な造形品の創作などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げる。(中1段階Bア(ア)) (学・人)感じ取ったことや想像したことなどを話したり、他の生徒と共感する。(中1段階)	(知・技)材料による印象の違いや適した用具などについて考えている。 (思・判・表)自分たちの作品制作の過程において、完成をイメージして活動している。 (主学)自分や友達作品を鑑賞し、表現の違いを楽しんだり、共感したりしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	鑑賞 飾る活動(7月)	毎時間の作品、制作の振り返り 校内への作品展示 自分や他の人の作品のよさ、がんばったことを発表する。
2 学期	28	(知及技)材料や用具の扱い方を身に付け、表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表す。(中2段階Aア(イ)) (思判表力)経験したことや想像したこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。(中2段階Aア(ア)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組む。(中2段階)	(知・技)表したいことに合わせて、材料や用具を工夫して使い表している。 (思・判・表)経験したことを基に、表し方を考えて、発想や構想をしている。 (主学)美術の活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	コラグラフ「自分の好きな物や想像したものを表す」(9～10月)	経験したことや思ったこと、想像などを基に材料を組み合わせながら完成をイメージして表す。 ・モダンテクニック ・コラグラフの特徴や製作工程について学ぶ。 ・主題を決める。 ・材料を選んで組み合わせる。 ・完成をイメージして貼り付ける。 ・色を選んで刷る。
		(知及技)形や色彩、材料や光などの特徴について知る。(中1段階共通ア(ア)) (思判表力)造形的な特徴などからイメージをもつ。(中1段階共通ア(イ)) (学・人)主体的に美術の活動に取り組む。(中2段階)	(知・技)形や色彩、材料の特徴を生かし表している。 (思・判・表)顔の構成を学び、表情などイメージをもって表現している。 (主学)美術の活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察、完成作品で評価する。	「つないで、くっつけてみよう」(10月～11月)	木や紙、割り箸などの材料を繋げて造形する。想像した物を形にする。

		(知・技)表し方や材料による印象の違いなどに気付き、自分の見方や感じ方を広げる。(中1段階Bア(1)) (思判表力)自分たちの作品や身近な造形品の創作などの鑑賞を通して、よさや面白さに気付き、自分の見方や感じ方を広げる。(中1段階Bア(7)) (学・人)感じ取ったことや想像したことなどを話したり、他の生徒と共感する。(中1段階)	(知・技)材料による印象の違いや適した用具などについて考えている。 (思・判・表)自分たちの作品制作の過程において、完成をイメージして活動している。 (主学)自分や友達のを鑑賞し、表現の違いを楽しんだり、共感したりしている。 【評価資料】活動の様子を観察で評価する。	鑑賞 飾る活動 (12月)	毎時間の作品、制作の振り返り 校内への作品展示 自分や他の人の作品のよさ、がんばったことを発表する。
3 学期	18	(知・技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解するとともに、材料や用具の扱い方を身につけ、表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。(中2A表イ、共ア) (思判表力)自分たちの作品や造形作品、美術作品などを鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、造形的な特徴からイメージを捉えることができる。(中2B鑑ア、共イ) (学・人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。(中2段階)	(知・技)形や色彩、材料や光などの特徴について理解するとともに、材料や用具の扱い方を身につけ、表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり、それらを組み合わせたりして計画的に表すことができる。 (思・判・表)自分たちの作品や造形作品、美術作品などを鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、造形的な特徴からイメージを捉えることができる。 (主学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。 【評価資料】活動の様子を観察で評価する。	・身の回りの色さがし 【iPad・iPod、モニター、プリンター、画用紙、糊、はさみ】 (1月～2月)	グループに分かれ「赤さがし」「青さがし」などとテーマを決める。校内や校庭をめぐりテーマの色を探して写真に撮る。何の写真かすぐにはわからないようにアップで撮ったり、トリミングしてできるだけ拡大しテキストを映し出す。クイズ形式など提示の方法も自分たちで考えながら撮影を行う。モニターに映してみんなで鑑賞する。プリントアウトして色別に分類して貼る。
		(知・技)表し方や材料による特徴の違いなどを捉え、自分の見方や感じ方を深める。(中2段階Bア(1)) (思判表力)自分たちの作品や美術作品などを鑑賞して、よさや面白さ、美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深める。(中2段階Bア(7)) (学・人)感じ取ったことや想像したことなどを話したり、他の生徒と共感する。(中1段階ウ)	(知・技)表し方や材料による印象の違いに気付き、感想などを話している。 (思・判・表)作品集制作の過程で、自身の作品を振り返り、よさや面白さに気付き、感想などを話している。 (主学)自分や友達のを鑑賞し、表現の違いを楽しんだり、共感したりしている。 【評価資料】活動の様子を観察で評価する。	作品集づくり (3月)	年間の作品や写真を製本し、自身の制作活動を振り返る。
総時数	70				

令和7年度 中学部 2年保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒		担当者		
3/105	中学部2年II課程				
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力)各種の運動や健康な生活における自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。(中1段階) (学・人)各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。(中1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力を高めることができる。(中1段階Aア) (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したことを他者に伝えることができる。(中1段階Aイ) (学・人)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりや用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階Aウ)	(知・技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力を高めようとしている。 (思・判・表)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したことを他者に伝えようとしている。 (主学)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりや用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子、感想発表や記録で評価する。	A体づくり運動 (4～5月)	○体力テスト 50m走、100m走、握力、ボール投げ、上体起こし、立ち幅跳び、長座体前屈、持久走等 ○体力作り ウォーキング、ランニング、サーキットトレーニング等
		(知及技)武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考えが分かり、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開すること。(中1段階Fア) (思判表力)武道についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者につたえようとしている。 (主学)武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動すること。(中1段階Fウ)	(知・技)武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考えが分かり、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開しようとしている。 (思・判・表)武道についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者につたえようとしている。 (主学)武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や感想発表、振り返りシートで評価する。	F武道 (5月)	○基本動作(空手道) ・空手の内容は、「基本」「型」「組手」の3つに分かれる。基本動作を反復して行う。 ・オリンピック代表選手など空手有段者の動画を視聴。 ○棒術 ・歴史について学ぶ。 ・型の基本動作を覚える。
		(知及技)初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階Dア) (思判表力)初歩的な泳ぎについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Dイ) (学・人)初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階Dウ)	(知・技)初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)初歩的な泳ぎについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子、感想発表や記録、学習カードで評価する。	D水泳運動 (6～7月)	○呼吸をしながらの泳ぎ ・補助員を使って浮き、呼吸をしながら手や足を動かして泳ぐこと。 ・補助員を使いながら頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、バク足泳ぎやかえる足泳ぎなど、手や足をバランス良く動かし、呼吸をしながら進むこと。 ○補助員を使ったクロールや平泳ぎのストローク ・補助員を使って、手を左右交互に前に出し、水をかくクロールのストロークや、手の平を下向きにそろえ両手を前方に伸ばし、水をかく平泳ぎのストロークをすること。
		(知及技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階Eア) (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中1段階Eイ) (学・人)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階Eウ)	(知・技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行なおうとしている。 (思・判・表)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や感想発表、振り返りシートで評価する。	E球技 (6～7)	○基本的な動きや技能 ・ゴール型、ネット型、ベースボール型などのボール操作及びボールを持たないときの動き。 ○簡易化されたゲーム ・バスケットボール、サッカー、フットベースボール、ティーボールなどを基に簡易化されたゲーム。

2 学期	48	(知・技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階Eア) (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中1段階Eイ) (学・人)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Eウ)	(知・技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行なおうとしている。(思・判・表)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。(主学)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や感想発表、振り返りシートで評価する。	E球技 (9～10月)	○基本的な動きや技能 ・ゴール型、ネット型、ベースボール型などのボール操作及びボールを持たないときの動き。 ○簡易化されたゲーム ・バスケットボール、サッカー、フットベースボール、ティーボールなどを基に簡易化されたゲーム。
		(知・技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階Cア) (思判表力)陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Cイ) (学・人)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Cウ)	(知・技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けようとしている。(思・判・表)陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。(主学)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や発表、記録で評価する。	C陸上 (11～12月)	○短距離走・リレー ・50m～100m程度の短距離走 ○長距離走 ・一定の時間や距離を決めて、個々のタイムなどの目標を目指しながら走り続けること。
3 学期	21	(知・技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階Cア) (思判表力)陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Cイ) (学・人)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Cウ)	(知・技)陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けようとしている。(思・判・表)陸上運動についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。(主学)陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や発表、記録で評価する。	C陸上運動 (1～2月)	○長距離走、駅伝 ・一定の時間や距離を決めて、個々のタイムなどの目標を目指しながら走り続けること。
		(知・技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階Eア) (思判表力)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。(中1段階Eイ) (学・人)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Eウ)	(知・技)球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行なおうとしている。(思・判・表)球技についての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。(主学)球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】学習の様子や感想発表、振り返りシートで評価する。	E球技 (1～3月)	○基本的な動きや技能 ・ゴール型、ネット型、ベースボール型などのボール操作及びボールを持たないときの動き。 ○簡易化されたゲーム ・バスケットボール、サッカー、フットベースボール、ティーボールなどを基に簡易化されたゲーム。
1 、 3 学期		(知・技)ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な技能を身に付け、表現したり踊ったりすることができる。(中1段階Gア) (思判表力)ダンスについての自分の課題を見つけ、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階Gイ) (学・人)ダンスに進んで取り組み、友達やグループの健康・安全に留意したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。(中1段階Gウ)	(知・技)ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な技能を身に付け、表現したり踊ったりしようとしている。(思・判・表)ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。(主学)ダンスに進んで取り組み、友達やグループの健康・安全に留意したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子、感想発表で評価する。	Gダンス (4～3月)	○音楽やリズムと動き ・特体連体大会で踊るダンスを覚える。弾む動きにねじる、回るなどの動きを入れて変化を付けたり、素早い動きやストップなどでリズムの変化をつけたりして踊る。 ※ダンスは年間を通して指導する。
		(知・技)体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けることができる。(中1段階Hア) (思判表力)自分やグループの健康・安全について課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者につたえることができる。(中1段階Hイ) (学・人)健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。(中1段階Hウ)	(知・技)体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けようとしている。(思・判・表)自分やグループの健康・安全について課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者につたえようとしている。(主学)健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。【評価資料】学習の様子、ワークシートで評価する。	H保健 (4～3月)	○気持ちや意欲であること、元気なこと、具合の悪いところがないこと、などの心と体の調子がよい状態にあることを理解し実践しているか発問、観察等。 ○友達やグループの健康・安全に留意したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。 ○不安や悩みなどがあるときには、家族や教師、友達などと話したり、相談したりすること、友達と遊ぶこと、運動をしたり音楽を聴いたりすること、呼吸法を行うなどによって気持ちを楽にしたり、気分を変えたりすることなど心の健康について。 ※保健は年間を通して指導する。
総 時 数	105				

※ダンス、保健は年間を通して指導する。

令和 7年度 中学部2年 (II 課程) 職業・家庭 (家庭班) 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
6/210	中学部2年II課程	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業についての関心をもち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。【中1段階】 (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気付き、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。【中1段階】 (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。【中1段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技) 働くことの意味などを知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人)作業や実習等に達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 働くことについて関心をもち、作業や実習に取り組もうとしている。 (思・判・表)意欲や見通しをもち、自分と他者との関係や役割について気付くことができる。 (主学)作業や実習等に進んで取り組もうという様子がみられる。 【評価資料】授業プリント(振り返しシート)や活動の様子で評価する。	・オリエンテーション(4月)	・授業開き、教室や用具の使用心得
		(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方を知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人)他者と協力し、進んで作業に取り組むことができる。【中1段階】	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方を知ろうとしている。 (思・判・表)職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について考え、発表しようとしている。 (主学)他者と協力し、進んで作業に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・縫製実習(4～3月)	・基礎縫い、スウェーデン刺しゅう、小物づくり
		(知及技) 健康な生活と食事の役割について知ることができる。【中2段階B(ア) 家庭分野】 (思判表力)日常の食事の大切さや規則正しい食事の必要性を考え、表現することができる。【中1段階B(イ) 家庭分野】 (学・人)健康な生活や食事の役割について知り、進んで自分の食生活を工夫することができる。【中1段階】	(知・技) 健康な生活と食事の役割について知ろうとしている。 (思・判・表)日常の食事の大切さや規則正しい食事の必要性を考え、表現しようとしている。 (主学)健康な生活や食事の役割について知り、進んで自分の食生活を工夫しようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・食事の役割(7月) ・調理実習(5～3月)	・3色栄養素、健康な身体づくり ・アイスボックスクッキー、マフィン
2 学期	84	(知及技) 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。【中1段階B(ア)】 (思判表力)コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。【中1段階B(イ)】 (学・人)進んでコンピュータ等の情報機器を活用することができる。【中1段階】	(知・技) 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ろうとしている。 (思・判・表)コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えようとしている。 (主学)進んでコンピュータ等の情報機器を活用しようとしている。 【評価資料】授業プリント(振り返しシート)や活動の様子で評価する。	・パソコンにふれてみよう(9月)	・マウスを使おう、インターネットを見てみよう
		(知及技) 幼児と接することなどに関わる学習活動を通して、幼児の特徴や過ごし方について知ることができる。【中1段階A(ア) 家庭分野】 (思判表力)幼児への適切な関わり方について気付く、それらを他者に伝えることができる。【中1段階A(イ) 家庭分野】 (学・人)幼児との触れ合いに関心を持ち、進んで関わろうという態度を養うことができる。【中1段階】	(知・技) 幼児と接することなどに関わる学習活動を通して、幼児の特徴や過ごし方について知ろうとしている。 (思・判・表)幼児への適切な関わり方について気付く、それらを他者に伝えようとしている。 (主学)幼児との触れ合いに関心を持ち、進んで関わろうとしている。 【評価資料】授業プリント(振り返しシート)や活動の様子で評価する。	・幼児の生活と家族(10～11月)	・絵本を読み聞かせてみよう
		(知及技) 職業や進路に関わることについて関心をもったり、調べたりすることができる。【中1段階C(ア)】 (思判表力)職業や職業生活、進路に関わることについて気付く、他者に伝えることができる。【中1段階C(イ)】 (学・人)他者と協力し、進んで作業に取り組むことができる。【中1段階】	(知・技) 職業や進路に関わることについて関心をもったり、調べようとしている。 (思・判・表)職業や職業生活、進路に関わることについて気付く、発表しようとしている。 (主学)他者と協力し、進んで作業に取り組もうとしている。 【評価資料】授業プリント(振り返しシート)や活動の様子で評価する。	・校内実習(10月)	・チラシ、ポスター製作 ・スライドショー製作
		(知及技) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知ることができる。【中1段階C(ア) 家庭分野】 (思判表力)生活に必要な物を選んだり、物を大切に使うことができる。【中1段階C(イ) 家庭分野】 (学・人)生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践することができる。【中1段階C(家庭分野)】	(知・技) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知ろうとしている。 (思・判・表)生活に必要な物を選んだり、物を大切に使うことができる。 (主学)生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとしている。 【評価資料】授業プリント(振り返しシート)や活動の様子で評価する。	・買い物学習、販売学習(11～12月)	・お金の学習、計算、支払い方法、接客マナー
3 学期	54	(知及技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践することができる。【中1段階C(イ) 家庭分野】 (思判表力)身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。【中1段階C(イ) 家庭分野】 (学・人)ゴミの分別や物を大切に扱うことについて考え、工夫しようとする態度を養うことができる。【中1段階】	(知・技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとしている。 (思・判・表)身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫しようとしている。 (主学)ゴミの分別や物を大切に扱うことについて考え、工夫しようとする様子がみられる。 【評価資料】授業プリント(振り返しシート)や活動の様子で評価する。	・環境に配慮した生活(1月)	・ゴミの分別、リサイクルについて、物を大切に扱うこと
		(知及技) 接客マナーについて学び、関心をもつことができる。【中1段階】 (思判表力)接客マナーを意識して、丁寧な言葉で接客することができる。【中1段階】 (学・人)販売学習に達成感を得て、進んで取り組むことができる。【中1段階】	(知・技) 接客マナーについて学び、関心をもっている。 (思・判・表)接客マナーを意識して、丁寧な言葉で接客しようとしている。 (主学)販売学習に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	・買い物学習、販売学習(2～3月)	・学校近くのコンビニエンスストアでの買い物の学習、自分達が製作・調理した物を販売する
総時数	210				

令和7年度 中学部 2年(Ⅱ課程) 職業(農業班) 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
6/210	中学部2年Ⅱ課程	

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業生活について関心をもち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。(中1段階) (学・人) 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(中1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技) 職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ることができる。【中1段階Aイ(ア)】 (思判表力) 職業や職業生活、進路に関わることに ついて気づき、他者に伝えることができる。【中1段階Cイ】 (学・人) オリエンテーションや係決めなどの話し合い活動に進んで参加することができる。	(知・技) 職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ることができた。 (思・判・表) 職業や職業生活、進路に関わることに ついて気づき、他者に伝えることができた。 (主学) オリエンテーションや係決めなどの話し合い活動に進んで参加しようとしている。 【評価資料】活動の様子、発表で評価する。	オリエンテーション (4月)	・働く目的について ・一年間の作業内容について ・作業の心得 ・身なりの確認
		(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができる。【中1段階Aイ(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気づくことができる。【中1段階Aア(イ)】 (学・人) 他者と協力して作業に取り組むことができる。	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができた。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気づくことができた。 (主学) 他者と協力して作業に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	野菜や草花の栽培及び販売 (ナス、ピーマン、オクラ、コリウス、マリーゴールド等) (4～7月)	・ミーティング(出欠、作業内容の確認、作業の心得、身なりの確認) ・野菜の肥培管理 灌水、施肥、除草 ・野菜の収穫及び販売準備 収穫、計量、袋詰め、販売 ・草花の栽培 播種、鉢上げ、定植、施肥、観察 ・販売学習 接客マナー、金銭学習 ・緑化活動 草花のプランター植え、花壇への定植等による装飾、施肥、灌水
		(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができる。【中1段階Aイ(ア)】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気づき、工夫することができる。【中1段階Aイ(イ)】 (学・人) 協力して作業に取り組むことができる。	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができた。 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気づき、工夫することができた。 (学・人) 協力して作業に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	分担区清掃(4～7月)	・清掃の意義 ・清掃用具の扱い方 ・清掃方法について ・トイレ清掃 ・廊下清掃
		(知及技) 職業や進路に関わることに ついて関心をもったり、調べたりすることができる。【中1段階Cア】 (思判表力) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気づくことができる。【中1段階Aイ(イ)】 (学・人) 売上金を活用して買い物学習に取り組むことができる。	(知・技) 職業や進路に関わることに ついて関心をもったり、調べたりすることができた。 (思・判・表) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気づくことができた。 (主学) 売上金を活用して買い物学習に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。	身近な職業について① (7月)	・身近な職業調べ ・将来身に付けたい力について ・働く目的 ・近くのコンビニを利用した買い物学習

		<p>(知及技) 職業生活に必要な知識や技能を知ることができる。【中1段階Aイ(ア)】 (思判表力) 職業や職業生活、進路に関わることについて、気づき、他者に伝えることができる。【中1段階Cイ】 (学・人) 学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを見つけることができる。</p>	<p>(知・技) 職業生活に必要な知識や技能を知ることができた。 (思・判・表) 職業や職業生活、進路に関わることについて、気づき、他者に伝えることができた。 (主学) 学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを見つけることができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>反省会 (7月)</p>	<p>・一学期の反省会 一学期の振り返り、発表</p>
2 学 期	84	<p>(知及技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ることができる。【中1段階Aイ(ア)】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気づき、工夫することができる。【中1段階Aイ(イ)】 (学・人) 安全かつ効率よく作業ができるよう工夫することができる。</p>	<p>(知・技) 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ることができた。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生について気づき、工夫することができた。 (主学) 安全かつ効率よく作業ができるよう工夫することができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>野菜や花の栽培(キャベツ、ブロッコリー、ニンジン、タマネギ、ジャガイモ、ガザニア、サルビア等) (9～12月) 校内実習 (10月)</p>	<p>・ミーティング(出欠、作業内容の確認、作業の心得、身なりの確認) ・農場整備 畝立て、マルチシート張り、植え穴開け、敷き草敷き ・野菜の播種、鉢上げ、灌水、定植、施肥 ・草花の播種、鉢上げ、灌水、定植、施肥 ・緑化活動 草花のプランター植え、花壇への定植等による装飾、施肥、灌水</p>
		<p>(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができる。【中1段階Aイ(ア)】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気づき、工夫することができる。【中1段階Aイ(イ)】 (学・人) 進んで作業に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具の扱い方に慣れることができた。 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気づき、工夫することができた。 (学・人) 進んで作業に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>分担区清掃(9～12月)</p>	<p>・清掃用具の扱い方 ・清掃方法について ・トイレ清掃 ・廊下清掃 ・窓清掃</p>
		<p>(知及技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。【中1段階Bア】 (思判表力) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。【中1段階Bイ】 (学・人) 進んで製作活動に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができた。 (思・判・表) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができた。 (主学) 進んで製作活動に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、作品、授業態度で評価する。</p>	<p>コンピュータ等を使った実習 (9～10月)</p>	<p>・コンピュータやタブレット端末の基本操作 ・アプリケーションを用いた製作活動(チラシ・ポスター作成、スライドショー作り) ・情報モラル</p>
		<p>(知及技) 職業や進路に関わることについて関心をもったり、調べたりすることができる。【中1段階Cア】 (思判表力) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気づくことができる。【中1段階Aイ(イ)】 (学・人) 事業所見学を通して、自らの進路に興味をもつことができる。</p>	<p>(知・技) 職業や進路に関わることについて関心をもったり、調べたりすることができた。 (思・判・表) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気づくことができた。 (主学) 事業所見学を通して、自らの進路に興味をもつことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>身近な職業について② (11月)</p>	<p>・身近な職業とこれまで学習したことの関わりについて ・事業所見学</p>
		<p>(知及技) 職業生活に必要な知識や技能を知ることができる。【中1段階Aイ(ア)】 (思判表力) 職業や職業生活、進路に関わることについて、気づき、他者に伝えることができる。【中1段階Cイ】 (学・人) 学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを見つけることができる。</p>	<p>(知・技) 職業生活に必要な知識や技能を知ることができた。 (思・判・表) 職業や職業生活、進路に関わることについて、気づき、他者に伝えることができた。 (主学) 学期を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを見つけることができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>反省会 (12月)</p>	<p>・二学期の反省会 二学期の振り返り、発表</p>

3 学期	54	<p>(知及技) 作業の持続性や巧緻性などを身に付けることができる。【中1段階Aイ(7)】 (思判表力) 職業生活に必要な健康管理について気付くことができる。【中1段階Aイ(1)】 (学・人) 安全かつ効率よく作業ができるよう工夫することができる。</p>	<p>(知・技) 作業の持続性や巧緻性などを身に付けることができた。 (思・判・表) 職業生活に必要な健康管理について気付くことができた。 (主学) 安全かつ効率よく作業ができるよう工夫することができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>野菜や花の栽培及び販売 (キャベツ、ブロッコリー、ニンジン、タマネギ、ジャガイモ、ガザニア、サルビア等) (1～2月) 野菜の栽培(ピーマン、ナス、オクラ等) (2～3月) 職業・家庭成果発表会 (1月)</p>	<p>・ミーティング(出欠、作業内容の確認、作業の心得、身なりの確認) ・野菜の肥培管理 定植、灌水、施肥、除草 ・野菜の収穫及び販売準備 収穫、計量、袋詰め、販売 ・花の栽培 播種、鉢上げ、定植、施肥、観察 ・販売学習 接客マナー、金銭学習 ・緑化活動 草花のプランター植え、花壇への定植等による装飾、施肥、灌水</p>
		<p>(知及技) 作業の持続性や巧緻性などを身に付けることができる。【中1段階Aイ(7)】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階Aイ(1)】 (学・人) 進んで作業に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 作業の持続性や巧緻性などを身に付けることができた。 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができた。 (学・人) 進んで作業に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>分担区清掃(1～3月)</p>	<p>・清掃用具の扱い方 ・清掃方法について ・トイレ清掃 ・廊下清掃 ・教室清掃</p>
		<p>(知及技) 職業や進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができる。【中1段階Cア】 (思判表力) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができる。【中1段階Aイ(1)】 (学・人) 売上金を活用して買い物学習に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 職業や進路に関わることに興味をもったり、調べることができた。 (思・判・表) 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くことができた。 (主学) 売上金を活用して買い物学習に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>身近な職業について③ (3月)</p>	<p>・身近な職業とこれまで学習したことの関わりについて ・買い物学習</p>
		<p>(知及技) 職業生活に必要な知識や技能を知ることができる。【中1段階Aイ(7)】 (思判表力) 職業や職業生活、進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができる。【中1段階Cイ】 (学・人) 1年間を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを見つけることができる。</p>	<p>(知・技) 職業生活に必要な知識や技能を知ることができた。 (思・判・表) 職業や職業生活、進路に関わることに興味をもったり、調べたりすることができる。【中1段階Cイ】 (主学) 1年間を振り返り、協力して取り組んだことや工夫したことを見つけることができた。 【評価資料】活動の様子、発表、授業態度、振り返りシートで評価する。</p>	<p>反省会 (3月)</p>	<p>・三学期の反省会 一年間の振り返り、発表</p>
総時 数	245				

令和7年度 中学部2年(Ⅱ課程)職業科 年間指導計画

単位数 /配当時間	対象生徒	担当者			
6/210	中学部2年Ⅱ課程				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 職業について関心をもち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。【中1段階】 (思判表力) 将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。【中1段階】 (学・人) 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。【中1段階】					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技) 働くことの目的などを知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	今日の学習(4月～7月) ・ミーティング ・将来の生活 ・いろいろな職業	○入室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得・服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題
		(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中1段階A(イ)】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 木工品の製作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫しようとしている。 (主学) 木工品の製作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	木工品製作 ・コースター(4～5月) ・スマホスタンド(6～7月)	○製作準備、片付け ○けがき ○材料取り ○部品加工 ○組み立て ○仕上げ(塗装など) ○すず落とし
		(知及技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。【中1段階B(ア)】 (思判表力) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。【中1段階B(イ)】 (学・人) 情報機器の操作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ろうとしている。 (思・判・表) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) 情報機器の操作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、情報機器の操作等	情報機器の活用 ・出席管理(4～7月) ・情報検索(4～7月) ・学習記録(7月)	○iPadで出席入力(日直) ○製作に関する資料検索 ○製作品の撮影等
2 学期	84	(知及技) 働くことの目的などを知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	今日の学習(9月～12月) ・ミーティング ・将来の生活	○入室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得・服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題
		(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中1段階A(イ)】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 木工品の製作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫しようとしている。 (主学) 木工品の製作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	木工品の製作 ・鉢かけ(9～10月) ・棚(10～12月) ・小物入れ(11～12月)	○製作準備、片付け ○けがき ○材料取り ○部品加工 ○組み立て ○仕上げ(塗装など) ○すず落とし
		(知及技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。【中1段階B(ア)】 (思判表力) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。【中1段階B(イ)】 (学・人) 情報機器の操作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ろうとしている。 (思・判・表) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えようとしている。 (主学) 情報機器の操作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、情報機器の操作、作成物等	情報機器の活用 ・出席管理(9～12月) ・情報検索(9～12月) ・学習記録(12月) ・販売に向けて(12月)	○iPadで出席入力(日直) ○製作に関する資料検索 ○製作品の撮影等 ○販売用ポスター等作成
3 学期	54	(知及技) 職業や進路に関わることに興味をもち、調べたりすることができる。【中1段階C(ア)】 (思判表力) 職業や職業生活、進路に関わることに興味をもち、調べたりすることができる。【中1段階C(イ)】 (学・人) 校内実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 職業や進路に関わることに興味をもち、調べたりすることができる。【中1段階C(ア)】 (思・判・表) 職業や職業生活、進路に関わることに興味をもち、調べたりすることができる。【中1段階C(イ)】 (主学) 校内実習等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、タイムカード、実習日誌等	校内実習(10月) ・事前学習 ・木工品制作 ・事後学習	○校内実習について ○木工品製作 ○販売準備 ○事後学習
		(知及技) 働くことの目的などを知ることができる。【中1段階A(ア)】 (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 作業や実習等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 働くことの目的などを知ろうとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付こうとしている。 (主学) 作業や実習等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子等	今日の学習(1月～3月) ・ミーティング ・将来の生活	○入室時のあいさつ ○出席確認と健康観察 ○作業の心得・服装チェック ○作業内容、目標、役割分担、準備等 ○今日のまとめ、反省、次時予告 ※毎回、授業の始めと終わりに実施 ○職業生活に必要なこと ※卒業後の生活をイメージできるような話題
		(知及技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れることができる。【中1段階A(イ)】 (思判表力) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階A(イ)】 (学・人) 木工品の製作等で達成感を得ることができる。【中1段階A(ウ)】	(知・技) 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れようとしている。 (思・判・表) 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。【中1段階A(イ)】 (主学) 木工品の製作等で達成感を得ようとしている。 【評価資料】 活動の様子、道具等の扱い、製作品の状態等	木工品の製作 ・本棚(1～3月)	○製作準備、片付け ○けがき ○材料取り ○部品加工 ○組み立て ○仕上げ(塗装など)
総 時 数	210	※生徒の興味関心や学習の進捗状況に応じて、木工品の製作を校内美化やリサイクル活動に置き換えて実施する。 ※将来の職業生活や家庭生活を意識できるような活動を適時取り入れる。			

令和7年度 中学部 (Ⅱ課程グループ) 外国語 年間指導計画

単位数 /配当回数	対象生徒	担当者
1/35	中学部2年Ⅱ課程	

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。【中段階】 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。【中段階】 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。【中段階】			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)英語の音声聞き、真似て声を出したり、話したりすることができる。【中段階(1)(ア)】 (思判表力)自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現することができる。【中段階(2)(ア)】 ・例示を見ながら自分の名前を書き写すことができる。【中段階(1)(イ)】 (学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)英語の音声聞き、真似て声を出したり、話したりしようとしている。 (思・判・表)自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現しようとしている。 ・例示を見ながら自分の名前を書き写そうとしている。 (主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。	【自己紹介】 ・挨拶をしよう ・自己紹介をしよう (4月) 【How are you ?】 ・自分の体調を伝えよう 【ALPHABET】 ・アルファベットの大文字の読み方を知ろう! (5月)	・先生や友達に自分の名前や好きなもの・ことについて自己紹介をする。 ・自己紹介の内容を聞きとることができる。 ・日付や天気、身近な話題をテーマに会話練習をする。 ・「How are you ?」の表現を理解し、自分の体調、感情や状態を絵カードをみながら答える。 ・アルファベットの大きい方の言い方をPPや絵カードを使って教師と一緒に発音する。 ・大文字を書く(なぞる)練習をする。 ・アルファベット探しをする。 ・自分の名前を書く。 ・名前のスペルを伝え合う。 ・文字のマッチングをする。 ・自分の姓名の頭文字を伝え合う。 ・ゲームやプリントなどを使って既習した語句や表現を復習する。
		(知及技)英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりなどの働きがあることを感じ取ることができる。【中段階(1)(イ)】 (思判表力)自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現することができる。【中段階(2)(ア)】 (学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりなどの働きがあることを感じ取ろうとしている。 (思・判・表)自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現しようとしている。 (主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。	【How many ?】 ・数を数えてみよう。 【I like blue】 ・好きなものや嫌いなもの ・【What color do you like ?】 ・好きな色を聞いてみよう! (6月)	・「How many ?」の疑問詞を使って、果物やキャラクターの数を尋ねたり数字を答えたりする。 ・具体物、イラスト(PP)や歌を通して、1~10までの数の言い方を教師と一緒に確認する。 ・じゃんけんプラスゲームを通して、英語で数字を発音する。 ・好きなものの言い方を知り、それらの表現を使って、たずねたり答えたりする。 ・果物、野菜、色、スポーツや食べ物などの簡単な単語の言い方を教師と一緒にPPや絵カードを使って確認する。 ・ゲームやプリントなどを使って既習した語句や表現を復習する。 ・ALTと一緒に既習した表現や語句を発音練習したり、ゲームやクイズ活動を通して英語に慣れ親しむ。
		(知及技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ることができる。【中段階(1)(ウ)】 (思判表力)身近で具体的な事柄に関する簡単な単語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付けることができる。【中段階(3)(イ)】 (学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ろうとしている。 (思・判・表)身近で具体的な事柄に関する簡単な単語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付けようとしている。 (主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。	【Who are you ?】 きみはだれ? (7月)	・身体の部位や動物の言い方を教師と一緒に確認する。 ・写真やイラストを使って、体の一部のヒントを見たり聞いたりして、何の動物かを答える。 ・ビンゴゲームやプリントなどを使って既習した語句や表現を復習する。
		(知及技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ることができる。【中段階(1)(ア)(ウ)】 (思判表力)日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うことができる。【中段階(2)ア】 (学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】	(知・技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ろうとしている。 (思・判・表)日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合おうとしている。 (主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。	【Summer Vacation】 ・夏休みの思い出についてスピーチしよう 【1学期の振り返り】 ・1学期に学んだことを思い出そう (9月) 【What time is it ?】 今何時? (10月)	・夏休みに行った場所や食べたもの、楽しかったこと、感想などについて簡単な単語や表現を使って伝える。 ・1学期に学習した内容の復習。 ・時刻や日課の言い方を知る。 ・おはよう、おやすみの言い方を知る。 ・給食時間、おやつ時間などの言い方を知る。 ・自分の好きな時刻や日課とその理由を伝え合う。

2 学期	14	<p>(知・技)日本と外国の言語や文化に慣れ親しむことができる。【中段階(1)イ】</p> <p>(思・判・表)身近で具体的な事物の様子や状態を簡単な語などや基本的な表現を用いて表現することができる。【中段階イ(イ)】</p> <p>(学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階】</p>	<p>(知・技)日本と外国の言語や文化に慣れ親しもうとしている。</p> <p>(思・判・表)身近で具体的な事物の様子や状態を簡単な語などや基本的な表現を用いて表現しようとしている。</p> <p>(主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>【季節の行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィン ・感謝祭 <p>【Do you have a pen?】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの文房具セットをつくろう！ <p>【What do you want ?】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほしいものは何かな？(10, 11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィンや感謝祭に関する語句や表現をPPや絵カードで練習し、ALTとゲーム活動をする。 ・ALTの話、写真や動画などの授業を通して外国の行事、食事や習慣などの異文化に触れる。 ・身の回りにある文房具の言い方をPPや絵カードを使って教師と一緒に発音する。 ・持ち物について尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・文房具の名称を聞いて、イラストをヒントに実物を選ぶ。 ・野菜と果物の言い方をPPや絵カードを使って教師と一緒に発音する。 ・ピザのトッピングやパフェの果物で欲しいものを尋ねたり答えたりする。
		<p>(知・技)日本語と英語の音声の違いに気づき、真似て声を出したり、話したりすることができる。【中段階ア(ア)】</p> <p>(思・判・表)自分のことについて、好みや要求などの自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。【中段階ウ(イ)】</p> <p>(学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】</p>	<p>(知・技)日本語と英語の音声の違いに気づき、真似て声を出したり、話したりしようとしている。</p> <p>(思・判・表)自分のことについて、好みや要求などの自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。</p> <p>(主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>【季節の行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス <p>【This is for you】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードを贈ろう(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字をなぞったり模写したりして感謝の思いを英文で作成し、相手にクリスマスカードを渡す。 ・既習した色と形の単語を使って、カードをデコレーションする。 ・ALTの話、写真や動画などの授業を通して外国の行事、食事や習慣などの異文化に触れる。
3 学期	9	<p>(知・技)日本語と英語の音声の違いに気づき、真似て声を出したり、話したりすることができる。【中段階ア(ア)】</p> <p>(思・判・表)身近で具体的な事物の様子や状態を簡単な語等や基本的な表現、ジェスチャーを用いて表現することができる。【中段階イ(イ)】</p> <p>(学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】</p>	<p>(知・技)日本語と英語の音声の違いに気づき、真似て声を出したり、話したりしようとしている。</p> <p>(思・判・表)身近で具体的な事物の様子や状態を簡単な語等や基本的な表現、ジェスチャーを用いて表現しようとしている。</p> <p>(主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>【winter vacation】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬休みの思い出についてスピーチしよう 【干支や正月に関すること】 ・新年の抱負 <p>【2学期の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学期に学んだことを思い出そう <p>【What's this ?】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あるものが何かを尋ねよう！(1, 2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みに行った場所や食べたもの、楽しかったこと、感想などについて簡単な単語や表現を使って伝える。 ・十二支や身体の部位の語句の言い方をPPや絵カードで復習し、神経衰弱や福笑いを通して正月に関するクイズやゲーム活動をする。 ・新年の抱負を一単語で書き、皆の前で発表する。 ・2学期に学習した内容の復習。 ・シルエット(既習した単語)が何かを答えたり尋ねたりする。 ・スリーヒントクイズを作り、あるものが何かを尋ねたり答えたりしてクラスで発表する。
		<p>(知・技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ることができる。【中段階ア(ウ)】</p> <p>(思・判・表)身近で具体的な事物に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付けることができる。【中段階(3)ア(イ)】</p> <p>(学・人)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。【中段階(3)】</p>	<p>(知・技)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝えることを感じ取ろうとしている。</p> <p>(思・判・表)身近で具体的な事物に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付けようとしている。</p> <p>(主学)外国語を通して言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>【Let's play cards】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊びを伝えよう。 <p>【季節の行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バレンタイン <p>【This is my favorite place】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの場所を紹介しよう。(2月) <p>【1年間の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・天気や曜日の言い方を絵カードやPPで確認して発音練習する。 ・友達への考えや好みを聞き、それに対して自分の考えや好みについて伝えよう。 ・季節の行事に関する表現や単語を写真や動画を見ながら学習をする。 ・学校の中にある教室の名称や道案内の仕方を絵カードやPPで確認して発音する。 ・教師の発音を聞いて、写真(イラスト)から当てはまる教室を選ぶ。 ・学校のお気に入りの場所を友達に道案内する。 ・ゲームやプリントなどを使って既習した語句や表現を復習する。
総時数	35				

令和7年度 中学部 2年（Ⅱ課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒		担当者		
1/35	中学部2年Ⅱ課程				
年間目標	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	・正しいと判断したことは、自信をもって行うことができる。(A 主として自分自身に関すること【正直、誠実】)	・自由と自分勝手の違いについて考えようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「自分の役割」 ・「よのなかルールブック」(4月)	・日頃行っている何気ない約束の意味を考え、その約束の意味を友達と意見交換し、学級の目標などに生かせるようにする。
		・家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接することができる。(B 主として人との関わりに関すること【感謝】)	・自分のことを支えてくれている人について知ることができる。 ・感謝の伝え方について知り、実践しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「ありがとう」の言葉【教科書】 ・「母の日」(5月)	・自分のことを支えてくれている人について考える。 ・感謝の気持ちを伝える言葉や伝え方について知る。
		・我が国や郷土の伝統と文化を大切し、国や郷土を愛する心をもつことができる。(C 主として集団や社会との関わりに関すること【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】)	・沖縄戦や郷土の歴史に興味を持ち、学習へ取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・平和学習 ・沖縄戦 ・「琉球いろは歌」 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度(6月)	・平和学習 ・慰霊の日に向けて沖縄戦の学習をし、郷土の歴史や、命の大切さについて再確認する。 ・復帰記念日に向け沖縄の歴史を学び、自らの生きる地域社会について興味をもつ。
		・礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接することができる。(B 主として人との関わりに関すること【礼儀】)	・敬語や丁寧語について知り、自ら考え使おうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「丁寧な言葉づかい」 ・ビジネスマナー(7月)	・TPOによって言葉を使い分けられることの大切さを知る。 ・ビジネスマナーについて知る。
2 学期		・自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活ができる。(A 主として自分自身に関すること【節度、節制】)	・自分でできることを考え、安全に気を付け、自ら実践しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・望ましい生活習慣(9月)	・学年活動 ・校外学習のルール、マナー
		・友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。(B 主として人との関わりに関すること【友情、信頼】)	・自らの行動を振り返り発言している。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・自分の良い所、友達の良い所さがし ・異性との付き合い方 友情、親愛(10月)	・男女の違い(性教育) ・学年活動を通して行動を振り返る。学級単位のアクティブラーニングにより他者への理解を深める。
		・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。(B 主として人との関わりに関すること【相互理解、寛容】)	・いろいろなきもちについて考え、ワークシートに記入している。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「どんなきもち?」【絵本】(11月)	・いろいろな気持ちがあることについて知る。 ・気持ちの伝え方(ロールプレイング)
		・約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。(C 主として集団や社会との関わりに関すること【規則の尊重】)	・深夜徘徊や情報モラルについて学び、自らの生活習慣などの環境を調整しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・2学期のふりかえり ・冬休みに向けて計画を立てよう 節度、節制(12月)	・長期休暇に向け、自己管理責任について学び、望ましい生活習慣を考える。
3 学期	9	・働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。(C 主として集団や社会との関わりに関すること【勤労、公共の精神】)	・職業生活のイメージを持ち、成果発表会に向けて取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・働くことの意義 ・将来の生き方 勤労(1月)	・職業家庭成果発表会に向けて ・自己の未来 ・職業生活についてイメージできるよう、校内実習を通して生活リズムや環境を学ぶ。
		・誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。(C 主として集団や社会との関わりに関すること【公正、公平、社会主義】)	・公正・公正な態度について話を聞き、誰に対しても分け隔てなく接しようとする様子が見られる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・「となりのせき」【教科書】(2月)	・公正・公平な態度について知り、考える。
		・自分の特徴に気付き、長所を伸ばすことができる。(A 主として自分自身に関すること【個性の伸長】)	・1年間の成功や失敗を振り返って学び、自身の得意なこと、苦手なことを理解している。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・1年間の振り返り(3月)	・1年間の振り返り ・自己の1年間で振り返り、進級に向けた目標を持つようになる。
総時数	35				

令和7年度 中学部 2年(Ⅱ課程) 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
1/35	中学部2年Ⅱ課程	

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知・技)探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に係る概念を形成し、探究的な学習の良さを理解できるようにする。 (思判表力)実社会や実生活の中から疑問を見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができるようにする。 (学・人)探究的な学習に主体的・協動的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)学級や学年の仲間に関心をもって話を聞くことができる。 (思判表力)自分の好きなことや得意なことをまとめ、相手に伝えることができる。 (学・人)自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぶことができる。	(知・技)学級や学年の仲間の話や発表を静かに聞き、相手のことを知ろうとしている。 (思・判・表)まとめたものを相手に伝えたり、表現しようとしている。 (主学)自分と異なる意見に耳を傾け、様々な立場の人から学ぶようとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	「教科の先生について調べよう」 「教科の教室について調べよう」 「自分の1週間の時間割を調べて表にまとめよう」 (4月)	・中学部オリエンテーション ・新しい先生や新しい友達、新しい教室を知り、自分の時間割を表にまとめて掲示する。 ・年間の授業計画について知り、主体的に取り組む。
		(知及技)実社会や実生活の中から自身の興味・関心に応じて、調べ物学習ができる。 (思判表力)実社会や実生活の中から疑問を見だし、活動の内容を理解し、自身の興味・関心に応じて調べ物学習ができる。 (学・人)自分や仲間と相談し、協力して活動できる。	(知・技)実社会や実生活の中から自身の興味・関心に応じて、調べようとしている。 (思・判・表)実社会や実生活の中から疑問を見だし、活動の内容を理解し、自身の興味・関心に応じて情報を集めようとしている。 (主学)自分や仲間と相談し、協力して活動しようとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	【探究課題】 「地域に生息する生きものの姿や自然など-校外学習にこう-」 (5月)	・校外学習の行き先について、場所や時間などを調べてワークシートに記入する。 ・その日必要な持ち物など、先生の話聞き、メモをとるなど情報の収集ができる。
		(知及技)校外学習で学んだことや楽しかったことを振り返り、ワークシートやポスターへまとめ発表することができる。 (思判表力)校外学習などの実際の体験活動を通して、身近な視点で疑問をもったり、目標を見いだしたりすることができる。 (学・人)身近な課題に関心を持ち、見通しを持ったり、振り返りながら、積極的に取り組むことができる。	(知・技)校外学習で学んだことや楽しかったことを振り返り、ワークシートやポスターへまとめ発表しようとしている。 (思・判・表)校外学習などの実際の体験活動を通して、身近な視点で疑問をもったり、目標を見いだしたりしている。 (主学)身近な課題に関心を持ち、見通しをもったり、振り返りながら、積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	【探究課題】 「地域に生息する生きものの姿や自然など-身近な視点で疑問をもつ-」 (6月)	・校外学習を動画や写真でふりかえり、実生活の中から疑問を立てる。 ・地域の特色に応じた課題として、自然や環境問題などをテーマにし、教科横断的に他教科への学びにつなげられるように工夫する。
2 学期	14	(知及技)情報を集めたり発表したりすることで、自分の生き方と社会との関わりや仕組みを捉えることができる。 (思判表力)地域社会の自然など、比較・分類・関連付けなどをしながらまとめ・表現することができる。 (学・人)他者と協働して粘り強く考え、力を合わせて活動することができる。	(知・技)情報を集めたり発表したりすることで、自分の生き方と社会との関わりや仕組みを捉えようとしている。 (思・判・表)地域社会の自然など、比較・分類・関連付けなどをしながらまとめ・表現しようとしている。 (主学)他者と協働して粘り強く考え、力を合わせて解決しようとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	【探究課題】 「地域に生息する生きものの姿や自然など-地域のよさを伝えよう-」 (7月)	・校外学習を通して学んだことをポスターにし、発表しよう。 ・写真やパンフレット、新聞記事など、収集したものを素材として活用し、学びマップを作る。
		(知及技)地域の自然、文化、産業を知ることができる。 (思判表力)経験したことを自分に生かし、比較・分類・関連付けなどをしながらまとめ・表現することができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持ち、聞くことができる。	(知・技)地域の自然、文化、産業を知ろうとしている。 (思・判・表)経験したことを自分に生かし、比較・分類・関連付けなどをしながらまとめ・表現しようとしている。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心をもち聞こうとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	【探究課題】 「地域の良さを調べよう-職業調べ-」 (9月)	・働くことの意味を考えたり、どのような職業があるのか、興味をもったりする。 ・地域にどのような仕事があるのか、校外学習や校内実習に向けて見学地を考えることができるようにする。
		(知及技)実社会や実生活の中から自身の興味・関心に応じて、調べ物学習ができる。 (思判表力)実社会や実生活の中から疑問を見だし、活動の内容を理解し、自身の興味・関心に応じて調べ物学習ができる。 (学・人)自分や仲間と相談し、協力して活動できる。	(知・技)実社会や実生活の中から自身の興味・関心に応じて、調べようとしている。 (思・判・表)実社会や実生活の中から疑問を見だし、活動の内容を理解し、自身の興味・関心に応じて情報を集めようとしている。 (主学)自分や仲間と相談し、協力して活動しようとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	【探究課題】 「地域の良さを調べよう-校外学習を計画しよう-」 (10、11月)	・実際に地域の職業を見学しに行く。行き先、移動方法、移動時間を調べ、力を合わせて計画する。 ・主体的に判断、選択できるよう、手立てとしてあらかじめ行き先を絞り選択肢として提示するなど支援をする。 ・事後の活動として、収集した写真やパンフレットなどをまとめ、ポスター発表に向けて制作する
3 学期	9	(知及技)社会には様々な職業があり、それぞれに特徴や良さ、働く人々の思いがあることを知る。 (思判表力)希望する職業や地元の職業に関する情報を関係付けて考えたりすることができる。 (学・人)職業について調べる体験を通して、得た知識や自分と違う考えを生かしながら、協働して課題解決することができる。	(知・技)社会には様々な職業があり、それぞれに特徴や良さ、働く人々の思いがあることを知ろうとしている。 (思・判・表)希望する職業や地元の職業に関する情報を関係付けて考えたりしようとしている。 (主学)職業について調べる体験を通して、得た知識や自分と違う考えを生かしながら、協働して課題解決しようとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	【探究課題】 「地域の良さを調べよう-校内実習や就業体験を通して-」 (12月)	・働くことの意味を捉え、日頃学んでいる知識が将来にどう生かされているのか、考える機会をつくる。 ・高等部の現場実習掲示物から、どのような仕事(実習先)があるのか知ったり、興味をもったりする。
		(知及技)情報を集めたり発表したりすることで、自分の生き方と社会との関わりや仕組みを捉えることができる。 (思判表力)地域社会の自然など、比較・分類・関連付けなどをしながらまとめ・表現することができる。 (学・人)他者と協働して粘り強く考え、力を合わせて活動することができる。	(知・技)情報を集めたり発表したりすることで、自分の生き方と社会との関わりや仕組みを捉えようとしている。 (思・判・表)地域社会の自然など、比較・分類・関連付けなどをしながらまとめ・表現しようとしている。 (主学)他者と協働して粘り強く考え、力を合わせて解決しようとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	【探究課題】 「地域の良さを発表しよう-情報を集めて発表しよう-」 (1、2月)	・新聞記事を活用し、自分と地域社会とのつながりを考える。 ・プレゼンテーションソフトを使い、写真をまとめたり、感じたことを言葉で入力したりする。 ・教室の友達や家族に地域の良さ、職業について調べたこと、考えたことを発表する。
		(知及技)1年間の活動を写真やスライドを手がかりにこれまでの活動内容を振り返り、自分の生き方と社会との関わりや仕組みを考え理解できる。 (思判表力)地域社会や自分の生き方から問題を見つけ、新たな問いを立てることができる。 (学・人)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞くことができる。	(知・技)1年間の活動を写真やスライドを手がかりにこれまでの活動内容を振り返り、自分の生き方と社会との関わりや仕組みを考えようとしている。 (思・判・表)地域社会や自分の生き方から問題を見つけようとしている。 (主学)自分の考えを皆の前で発表し、相手の話にも関心を持って聞こうとしている。 【評価資料】活動への参加の様子、周囲の職員・生徒との関わり方、活動の振り返りなど	【探究課題】 「地域に生息する生きものの姿や自然、地域の良さ-未来の私に向けて-」 (3月)	・1年間の活動を動画や写真でふりかえり、実生活の中から疑問を立てる。 ・地域の特色に応じた課題として、自然や環境問題などにつなげられるようにし、未来のために今の自分ができていることを考える。
総時数	35				

令和7年度 中学部 2年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者
1/35	中学部2年Ⅱ課程	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技)多様な他者と協働する様々な集団行動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団行動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p> <p>【評価の観点】 ○多様な他者と協働するために必要な知識・技能 ○集団や社会をよりよくするための思考・判断・表現 ○主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	<p>【学校行事】儀式的行事 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳肅で清新な気分を味わい、厳肅で清新な気分を味わい、新しい生活への展開への動機づけとなるようにすることができる。</p>	<p>学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳肅で清新な気分を味わい、厳肅で清新な気分を味わい、新しい生活への展開への動機づけとなるようにしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>儀式的行事(4、7月) 「学期や学年の節目を迎えて」 ・入学式 ・1学期終業式</p>	<p>・儀式的行事にふさわしい服装や礼儀、マナーについて学び、気品ある行動の仕方を身に付ける。 ・新しい学期や学年への決意表明を考え、発表する。 ・行事参加への心構えや、行事を主体的に受け止め、自己の生活改善のきっかけにできるよう、準備の段階から指導を工夫する。</p>
		<p>学級活動(1)イ 学級生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。</p>	<p>学級生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>学級活動(1) 「係活動を決めよう-学級内の組織づくりや役割の自覚-」 (4、9、1月)</p>	<p>・集団としての意見をまとめる話し合い活動を重視する。 ・学級生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織を作り、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い、実践する。</p>
		<p>学級活動(3)ア 現在及び将来の学習と自己実現を考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学ぶことと働くことの意義を意識して学習の見通しを立て、振り返ることができる。</p>	<p>現在及び将来の学習と自己実現を考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学ぶことと働くことの意義を意識して学習の見通しを立て、振り返ることができる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>学級活動(3) 「1学期の目標-一人一人のキャリア形成と自己実現-」 (4、7月)</p>	<p>・キャリアパスポートを活用し、学んだことを振り返りながら新たな学習や生活への意欲につなげる。</p>
		<p>【学校行事】健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資することができる。</p>	<p>心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資することができる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>保健・安全の行事 「健康な体をつくろう」 ・各種検診(4、5月) ・交通安全教室(6月)</p>	<p>・自分の発育や健康状態について関心をもち、心身の健康の保持増進に努める。 ・身の回りの危険を予測・回避し、安全な生活に対する理解を深める。</p>
		<p>【生徒会活動】 生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができる。</p>	<p>生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>生徒会活動 「新入生歓迎会」(4月) 「三育中との交流会」(6月)</p>	<p>・生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにする。 ・集団としての意見をまとめる等の話し合い活動を重視する。 ・自分たちでできまりをつくって守る活動を充実する。 ・人間関係を形成する力を養う活動を充実する。</p>
		<p>学級活動(2)エ 節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。</p>	<p>節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>学級活動(2) 「心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成」(9月)</p>	<p>・安全に関して、日常生活に潜む様々な危険を予測したり、問題解決の方法を話し合ったりする。</p>
2 学期	14	<p>学級活動(2)オ 給食の時間を中心としながら、成長や健康管理を意識するなど、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすることができる。</p>	<p>給食の時間を中心としながら、成長や健康管理を意識するなど、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくしようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>学級活動(2) 「給食講話-食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」(10月)</p>	<p>・自分の食生活の見直しと改善、望ましい食習慣への課題、生涯を通じた望ましい食習慣の形成などの題材を設定し、発表し合う。</p>
		<p>学級活動(2)ウ 心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする事ができる。</p>	<p>心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>学級活動(2) 「思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応」(11月)</p>	<p>・思春期の心と体の発育・発達、性情報への対応や性の逸脱行為に関すること、エイズや性感染症などの予防に関すること、友情・恋愛などについての題材を設定し、資料をもとにした話し合いや専門家の講話を聞くなどの活用。</p>

		<p>【学校行事】健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資することができる。</p>	<p>心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>健康安全・体育的行事 ・総合避難訓練① 「不審者対策」(9月) ・総合避難訓練② 「地震津波避難訓練」(11月)</p>	<p>・自然災害や犯罪などの非常事態に際し、沈着、冷静、迅速、的確に判断して対処する能力を養い、自他の安全を確保することのできる能力を身に付ける。</p>
		<p>学級活動(3)イ 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>学級活動(3) 「社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成」 (9、12月)</p>	<p>・キャリアパスポートを活用し、学んだことを振り返りながら新たな学習や生活への意欲につなげる。 ・校内実習などの取り組みを通して、適性や能力がどのように発揮され、社会における自分をどのように評価するのかといった自己有用感や自己肯定感などについて理解できるようにする。</p>
		<p>【生徒会活動】 生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができる。</p>	<p>生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>生徒会活動 「生徒会選挙」(1月) 「3年生を送る会」(2月)</p>	<p>・生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにする。 ・集団としての意見をまとめる等の話し合い活動を重視する。 ・自分たちできまりをつくって守る活動を充実する。 ・人間関係を形成する力を養う活動を充実する。</p>
		<p>【学校行事】儀式的行事 学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活への展開への動機づけとなるようにすることができる。</p>	<p>学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活への展開への動機づけとなるようにしようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>儀式的行事 「学期や学年の節目を迎えて」 ・3学期始業式 ・卒業式 ・修了式 (1、3月)</p>	<p>・儀式的行事にふさわしい服装や礼儀、マナーについて学び、気品ある行動の仕方を身に付ける。 ・行事参加への心構えや、行事を主体的に受け止め、自己の生活改善のきっかけにできるよう、準備の段階から指導を工夫する。 ・厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげるようにする。</p>
総時数	35				

令和7年度 中学部 2年（Ⅱ課程） 自立活動 年間指導計画

配当時数		対象生徒		担当者	
70		12名			
年間目標		・個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を養う。 ・生徒の体の動きや保有する感覚、意思の表出の状態に応じて、適切な補助具や補助的手段を工夫し、有効的な活用を図る。			
学期	時数	単元・題材の目標	評価規準	内容区分、項目	単元・題材の活動内容
1学期	24	・自ら気付いて身だしなみや保清に取り組む。 ・活動内容やスケジュールに見通しを持ち、落ち着いて行動できる。	・自らの学習状況や結果に気付き、その後の学習の意欲へ繋げている。 【評価資料】学習前後の自己評価や学習の状況の観察による評価。	1 健康の保持 (1)生活のリズムや生活習慣の形成に関する事 (2)病気の状態の理解と生活管理に関する事 (3)身体各部の状態の理解と養護に関する事 (4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事。 (5)健康状態の維持・改善に関する事	「自立活動の時間における指導」の中で学習グループ全体で以下ア～ウの指導を年間を通して行う。 ア 言葉かけや視覚的な教材を活用して身だしなみや保清をする。【健(1)、人(3)】→絵カードや鏡、手順表 イ 朝の時間帯に日課の記入を行い、日程と準備物の確認をする。【人(1)(2)、環(1)、コ(1)(2)】→白板や連絡帳への記入 ウ 話したい内容を短い文章にまとめ、適切な言葉で表現できるように会話をしながら引き出す。【心(2)、人(1)(4)、コ(1)(3)】→出来事発表など
				2 心理的な安定 (1)情緒の安定に関する事。 (2)状況の理解と変化の対応に関する事。 (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する事。	
2学期	28		・自らの学習状況や結果に気付き、その後の学習の意欲へ繋げている。 【評価資料】学習前後の自己評価や学習の状況の観察による評価。	3 人間関係の形成 (1)他者との関わりの基礎に関する事。 (2)他者の意図や感情の理解に関する事。 (3)自己の理解と行動の調整に関する事。 (4)集団への参加の基礎に関する事。	
				4 環境の把握 (1)保有する感覚の活用に関する事。 (2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。 (3)感覚の補助及び代行手段の活用に関する事。 (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。	
3学期	18		・自らの学習状況や結果に気付き、その後の学習の意欲へ繋げている。 【評価資料】学習前後の自己評価や学習の状況の観察による評価。	5 身体の動き (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。 (2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。 (3)日常生活に必要な基本動作に関する事。 (4)身体の移動能力に関する事。 (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。	
				6 コミュニケーション (1)コミュニケーションの基本的能力に関する事。 (2)言語の受容と表出に関する事。 (3)言語の形成と活用に関する事。 (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。 (5)状況に応じたコミュニケーションに関する事。	
総時数	70				